

第16号

本小の教育「授業研修会」

特支全

◦インクルシブ教育「特別支援◦自立活動」

本年度、毎週水曜日の1校時目に、特別支援チームが一堂に会し「自立活動」の授業を行っている。その一場面を互見授業として参観させていただきました。本日の授業者は、STEP_2組担任の「仲程彩」先生です。体育系女子の 彩 Chan 先生 2組の子共達と悪戦苦闘を繰り返しておりますが、今年は、かなり「バージョンUP」しました。特支全体の「自立活動」も体育系の持ち味をいかして、Physical 的な 2つのゲームを取り入れてきました。子共達は、このゲームに食いついてくるのか？ 適当にあしらわれるのか？ ゴングが今、鳴り響きました！

■ 特別支援 全学級 「仲程 彩」先生 1校時目



【学習の流れ（学習過程）】

■单元名：「自立活動」③人間関係形成・集団への参加の基礎・コミュニケーションの基礎的能力。

1、本時のねらい

仲間と協力してゲームを楽しむことができるようにする。皆の前で自分の考えが云えたり、困った時に助けを求め出来るようにする。たり

2、めあて、まとめ、振り返り

[め]自分の考えを皆に伝えよう
[ま]自分の考えが言えると楽しい
[ふ]自分の考えが言えると楽しい

3、本時の展開

【教室の色（支持的風土）】

「お手本」さすが、役者の「モリ・ミッチー先生」でした

【教師の眼（教師の姿勢）】

【感想】 「特支・自立活動」 特別支援に関する大切な「特設授業」でした。 本当に有難うございました。♥

○「1つ目のゲーム：フラフープおくり。最初は、エンジンが掛からず。でも、燃えてきた。」

○「2つ目のゲーム：大嵐（フルーツバスケット応用編）。意外と、低学年の子が盛り上げた。」

○「自己評価：伝える事ができた、少し出来た、みんなの評価は全員が「出来た」に○だった」

○「この子達に必要なのは、非認知能力、感情コントロール、他と関わる力、頑張る力である」

○「この子達は、キャリア教育を踏襲した取組。社会へ出て【生きて働く力】が最も必要だ！」

○「本人達と、保護者達と、どう考えているのか確認をしてゴール（目標）を決め、進むのみ」



校長より